

女性活躍促進に係る企業課題解決支援研修 及び情報発信事業【広島県】

個別事業費	19,114千円
交付金額	9,557千円

地域の実情と課題

- ・ 少子高齢化の進行により、生産年齢人口が減少しており、地域経済の活力低下や県内中小企業における中長期的な人材不足が懸念されている。
- ・ 県が目指す「女性活躍」の方向性は、県内企業が女性活躍を経営課題として取り組み、ダイバーシティ&インクルージョンを活かしたイノベーションや付加価値向上、人材確保など経営メリットを享受することであるが、KPIである「県内事業所における指導的立場に占める女性の割合」（R7目標：25%）は、依然として低い水準に留まっている。（H27実績：19.4%→R3：実績19.9%）

目的・目標

- 【目的】企業における女性活躍の取組ステージを設定し、各ステージの企業に対して効果的な研修を実施することで、女性活躍を促進する。
- 【目標】括弧内は実績
- ・ 企業経営者・人事労務担当者向け動機付けセミナー参加者数 各回100名(121名)(98名)
 - ・ 企業経営者及び推進担当者向けセミナー参加者数 各回100名(119名)(111名)(97名)
 - ・ 管理職向けイクボス式マネジメント研修参加者数 各回30名(24名)(27名)(24名)
 - ・ 女性従業員に対する管理職登用にに向けた意欲向上研修参加者数 各回50名(34名)(56名)(交流会/28名)
 - ・ 女性管理職候補者向け研修会参加者数 各回30名(35名)(34名)(30名)(交流会/35名)

事業の特徴

- ・ 女性人材を管理職層に登用する意義や必要性を理解せず、そのための取組にも未着手である県内企業経営者等に対し、女性活躍の理解促進セミナーを開催し、取組着手に向けた動機付けを図った。
- ・ 女性活躍の取組に着手している企業に対し、女性活躍推進の基盤である、両立支援や人材育成など制度（ハード）、日々のマネジメントによる教育（ソフト）、安心して意欲高く働き続けられる企業風土（ハート）の環境整備に向け、実践に必要な知識やスキルの習得支援を行う研修を実施した。
- ・ 研修等に多くの県内企業の参加を促すため、女性活躍の必要性や自社の女性活躍の取組ステージ判定及び参加すべき研修が分かるリーフレット等を作成するなど、広報も実施する。

連携団体

「働き方改革推進・働く女性応援会議ひろしま」
官民が連携して発足した組織である同会議の構成団体が運営するHP等を通じて広く周知していくとともに、女性活躍やワークライフバランスに係るセミナー・講座等を通じて、収集した事例等を企業や働く女性に対して発信する。

事業の効果

- ・ 参加者からは、女性活躍の重要性が理解できた、自社の課題が認識する上でのヒントを得た、女性リーダーを目指す自信がついた、研修内容を社内で実践していきたいなどの声が聞かれた。
- ・ 参加者へのアンケートの結果、研修を受けることによって女性活躍に取り組む、自社で実践すると回答した割合は約85%であったことから、多くの参加者の行動変容につながる効果が認められた。
- ・ 男性育休取得促進に関する優良事例及び女性活躍推進モデル企業取組過程の見える化については、先進的な取組事例等を取材し、発信したことで他の県内企業へ好事例を提示することができた。

今後の課題

- ・ 中長期目標としている「事業所における指導的立場に占める女性の割合」は令和4年度時点で20.8%にとどまっており、依然として女性活躍の制度の構築、企業風土の形成ができていないと言いがたい。
- ・ また、管理職候補者となる女性は一定数存在しているものの、登用にに向けた取組を計画的に進めている企業等は少数にとどまっており、また昇進意欲が高い女性人材の割合も高くない。
- ・ このことから、経営者層や管理職層と、女性人材がお互いの想いや抱えている問題を具体的にイメージできるように、意見交換をできる機会を設け、また、座学だけではなく、アウトプットを十分に行い、自身の考えをしっかりとまとめ、展望を考えられる研修等を行う必要がある。

事業の概要

○ 女性活躍推進に係る企業課題解決支援研修

- I. 企業経営者・人事労務担当者向け動機付けセミナー
女性活躍の意義等を理解していない企業経営者に対し、行動変容のきっかけとなる理解促進セミナーを実施した。
- II. 企業経営者及び推進担当者向けセミナー
企業経営者や推進担当者に対し、各企業がそれぞれ抱える女性活躍推進の課題解決に向けて、必要な知識やスキルの習得支援を行うセミナーを実施した。
- III. 管理職向けイクボス式マネジメント研修
県内企業の管理職に対し、男女を問わず管理職自らが、企業における様々な考え方や行動の模範となり、周りに影響を与える存在「ロールモデル」となるためのノウハウを学ぶことができる研修を実施した。
- IV. 女性従業員に対する管理職登用に向けた意欲向上研修
県内企業で働く女性従業員（リーダー候補）に対し、自身のキャリア意識や組織内での行動力を向上させるために、自信を身に付け、一步踏み出すことを目的とした研修及び交流会を実施した。
- V. 女性管理職候補者向け研修
受講者同士のネットワークの形成を図るとともに、社内で研修受講者の活動をコミットするため、研修受講者の上司（経営者や管理職等）も参加した交流会を開催することで、実践・定着を促した。

○ 男性育休取得促進に関する優良事例の募集・見える化

企業等に対して男性の育児休業制度の周知を図るとともに、育児休業を取得しやすい職場環境の整備を促進するため、県内企業の男性育休取得に関する優良事例（ベストプラクティス）を募集し、また、その優良事例の取材記事を作成し、県のWebサイト「ヒントひろしま」で発信した。

○ モデル企業取組過程の見える化

女性活躍推進モデル企業の取組過程や成果について、県のWebサイト「ヒントひろしま」で発信することにより、県内企業に対し取組着手を促すとともに、広島県女性活躍推進アドバイザーの有効性を普及した。

【リーフレット】

女性活躍推進モデル企業
女性活躍推進のための女性活躍推進型

組織成果につながる
ダイバーシティ経営への転換を
企業成長の柱に

【webサイト】

Hintひろしま
【活動報告】広島県女性活躍推進モデル企業創出事業

令和3年度 女性活躍推進モデル企業創出事業について

企業名	令和3年度 活動レポート	令和4年度 活動レポート	令和5年度 活動レポート

【チラシ】

全員活躍組織の作り方
イクボスで組織も働き方も変わる!

女性離転職者等キャリア形成支援事業【広島県】

個別事業費	10,670千円
交付金額	8,002千円

地域の実情と課題

- ・女性の正規雇用率は、20歳代後半をピークに、その後は右肩下がりで低下していく、いわゆるL字カーブが課題となっており、女性はライフイベントの関係で離職した後、社会復帰するにあたって、パートタイム労働を選択するケースが多い状況にあるが、コロナ禍において、非正規雇用者は、雇用調整の対象になりやすい等の課題がより浮き彫りになった。
- ・また、多様な人材が活躍できるようにするため、企業は様々な雇用形態に対応できる制度や環境を整備する必要があるが、DXを推進する人材不足が深刻化している。

事業の特徴

- ・再就職を希望する子育て世代や雇用形態及び業種転換を希望する女性に対し、自身のキャリア形成を意識してもらいながら、キャリアチェンジやデジタルスキル習得（リスキリング等）への意識啓発を行い、自律的なスキルアップ、キャリアアップを後押しし、実践を促すことで、希望する労働移動の実現を図った。
- ・県内企業等に対しては、働きたい意欲はあるが家庭等の事情により時間的制約のある女性人材の潜在能力を理解し、継続雇用することで得られるメリット及び事例等を周知することで、意欲ある女性人材の受入れ環境の整備を促した。

事業の効果

- ・ガイダンス参加者約140名、講座参加者約50名、ミートアップイベント後のアンケートでは、86%の女性が働いてみたい企業との出会いがあったと回答した。ミートアップイベントには42社の企業が参加し、就職率は35.7%（令和6年3月末時点）となった。女性、企業共に、前向きな意見が多く、一定の効果があった。

目的・目標

- 【目的】女性と県内企業とのマッチング等を行い、希望する働き方の実現を支援する。
- 【目標】括弧内は実績
 - ・県内企業等と女性等がマッチングした割合20%（35.7%）
 - ・企業向けセミナー等参加者のうち、女性の採用や育成等のために制度構築等に「取り組もう」と回答した割合 70%（73%）

連携団体

- ・「働き方改革推進・働く女性応援会議ひろしま」
官民が連携して発足した組織である同会議の構成団体として県内全23市町が加入しており、市町主催の未就業女性を主な対象とするセミナーや市町が運営する子育て支援施設等を通じて本事業を広く周知する等の連携をした。

今後の課題

- ・デジタルスキルを身につけ、キャリアアップしたいという希望はあるものの、公的職業訓練等は、訓練時間が長く（500時間程度、6か月間ほぼ毎日受講）、ライフスタイルによって徐々に就業時間・日数を増やし、ステップアップできる働き方を希望するターゲット層には挑戦しにくいものになっているため、時間や場所に制約のある女性が学び直しをする場が必要である。

事業の概要

(1) 女性離転職者向けキャリア形成支援

① ガイダンス及びスタートアップ講座

ア 私らしい人生とキャリアを築く子育て世代の思考整理術

イ 女性のためのSNS活用

② 県内企業等と女性等とのマッチングに向けた準備講座（全5回講座）

③ アドバイザーによる伴走支援

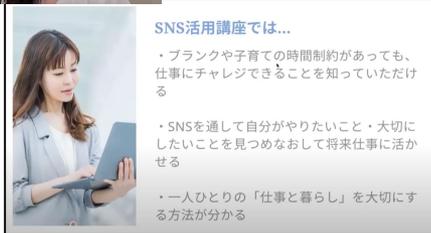
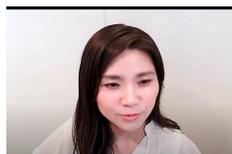
④ SNS広報（県単独事業により実施）

(2) 女性人材の受入れを希望する県内企業向け意識改革セミナー

県内企業の経営者・人事労務担当者等に対し、子育て世代女性等の多様な潜在能力を知ってもらい、企業成長を担うデジタル人材として採用につなげてもらうための意識改革セミナーを実施した。

(3) 女性講座受講生と企業が出会う発表会及びマッチング

(1) ②の女性受講者と県内企業とのマッチングを行うため、女性自己PR等の発表会を実施した。参加企業には女性等の経歴シートを、女性受講者には勤務条件等が記載された参加企業のPRシートを提供した。



↑ガイダンス(オンライン)の様子



↑準備講座の様子



↑企業向けセミナーの様子



↑ミートアップイベントの様子

女性の再就職支援事業【広島県】

個別事業費	28,055 千円
交付金額	8,000 千円

地域の実情と課題

・本県の女性の就業率（25～44歳）は、77.4%（令和2年国勢調査）となっており、前回調査（平成27年）と比較して5.1ポイント上昇し、出産・育児期の女性の離職により就業率が落ち込む、いわゆるM字カーブは改善傾向にある。一方で、女性の正規雇用比率は、20歳代後半をピークに、その後は右肩下がりで低下していく、いわゆるL字カーブとなっており、女性は結婚・出産・育児等のライフイベントの関係で離職した後、ブランクを経て再就職するにあたり非正規雇用となるケースが多い。

事業の特徴

・従来のキャリアコンサルティングや就職活動のノウハウ等に関する相談、仕事と家庭の両立相談及び子育て支援情報等の提供に加えて、新たに実施するキャリアコンサルティングにおいて、デジタルスキルの棚卸しや成長分野へのキャリアチェンジ、デジタルスキル習得（リスキリング等）への意識啓発等の情報提供を行った。

・就職活動中に子供の一時預け先を確保する必要がある相談者に対して、保育所情報等を提供するとともに、託児に要する経費を助成し、早期再就職に向けた活動を支援した。

事業の効果

・利用者数は、ひろしまコーナーで314人、ふくやまコーナーで335人と、目標の920人には届かなかったが、就職者数は、ひろしまコーナーで186人、ふくやまコーナー214人と、目標の280人を上回ったことから、早期再就職に向けた活動の支援を行うことができた。

・利用者アンケートにおいては、「相談してよかった」「次の行動が見えてきた」「問題が明確になった」という声が多くあった。

目的・目標

【目的】再就職希望者に対して、新たな業種や職種にチャレンジするためのキャリアコンサルティングを実施するとともに、就職活動に伴う一時保育等の経費を助成することなどにより制約を取り除き、早期再就職を支援する。

【目標】括弧内は実績

- ・わーくわくママサポートコーナー初回利用者数920人（649人）
- ・わーくわくママサポートコーナー就職者数280人（400人）
- ・わーくわくママサポートコーナーを通じた就職率30%以上（31.4%）

連携団体

「働き方改革推進・働く女性応援会議ひろしま」

- ・官民等が連携して発足した組織
- ・同会議の構成団体として県内全23市町が加入しており、市町主催の未就業女性を主な対象とするセミナーや市町が運営する子育て支援施設等を通じて「わーくわくママサポートコーナー」を広く周知した。

今後の課題

- ・子育て世代は、勤務時間や勤務場所、保育所の確保等の制約や就職時の子供の預け先の確保などのハードルがあり、早期就職が困難になる恐れがあるため、就職ニーズに対して、きめ細やかなキャリアコンサルティングを行う必要がある。
- ・非正規雇用者は雇用調整の対象になりやすい等の課題から雇用形態や業種転換を希望する女性への就業支援を強化していく必要がある。またキャリアチェンジやリスキリングの意識啓発を図り、デジタルスキルの習得等により、成長分野等の希望する職種への再就職を後押ししていく。

困難を抱える女性のための支援等事業【広島県】

個別事業費	1,597 千円
交付金額	798 千円

地域の実情と課題

少子高齢化の進展や家族の形の変化に加え、新型コロナウイルス禍に外出自粛が続いたことで人とのつながりが希薄になるなど複雑な社会情勢において、孤立・孤独を深め、深刻な悩みを抱えている人が取り残されることがないように、令和4年度に専門家による相談事業を開催した。引き続き、複合的な悩みを抱える女性一人ひとりの境遇に応じ、孤立することなく安心して暮らせる支援が必要である。

目的・目標

- 【目的】
困難や不安を抱える女性等の社会参画に向け、専門家の知見を活用しながら、寄り添った支援を提供する相談体制の充実・確保を行う。
- 【目標】
臨床心理士・弁護士等による無料相談会の参加者数(アウトプット): 70人

事業の特徴

- 多様な課題や複雑・困難な問題に向き合い、寄り添った相談支援が行えるよう、臨床心理士、弁護士等の専門家による相談会を無料で実施した。
- 従前から財団の相談業務等と連携実績があり、女性問題に強い臨床心理士1名、弁護士2名を配置するほか、LGBT相談では大学教授等の相談員を3名配置し、事前予約制により、1組当たり1時間と十分な時間を確保することで、相談者が自らの課題に向き合ったり、解決への道のりを一緒に考えたりする後押しができるよう工夫した。

連携団体

- 相談支援を行う民間団体のノウハウや、団体と繋がりのある人材を活用し、臨床心理士、弁護士、LGBT等支援者といった相談会を(公財)広島県男女共同参画財団に委託して実施した。
- 広報周知については、市町の相談機関及び行政窓口を通して、県内全域に対して周知を実施した。
- 困難を抱える方の相談に繋げるため、相談会を委託する団体において生理用品の配布を実施した。

事業の効果

- 【実績】
個別相談会への参加者実績: 42組
(親族やパートナー同伴による参加もあったため、組数でカウント)
そのほか、グループ相談を各会で実施した。
- 【評価】
○ 全ての相談枠が埋まり、本事業のニーズの高さが窺えた。
○ 相談後のアンケート結果で、9割以上の方が「満足」と回答した。
○ 自由意見欄においても、「たくさんお話を聞いていただけて、気持ちが整理できました。」など前向きな意見が多かった。

今後の課題

- 事前申込期限前に全ての相談枠が埋まったため、期限前に受付を締め切っていることから、相談枠の拡充などの対応が必要である。
- 社会情勢の変化などにより、相談内容が複雑多様化していることから、相談内容を分析し、相談者のニーズに寄り添った専門家を選定する必要がある。

事業の概要

○困難を抱える女性等を対象に、多様な課題や問題に向き合えるよう寄り添った相談支援を行うため、臨床心理士、弁護士等による相談会を令和5年9月と令和6年2月の2回開催した。

実施日

- ・令和5年9月23日(祝) 10:00~17:00
- ・令和6年2月23日(祝) 10:00~17:00

内容

- ・LGBT相談…性別のこと、学校・職場に行きづらいなど
- ・弁護士相談…DV、夫婦・家族問題、ハラスメントなど
- ・臨床心理士相談…子ども、家族問題、こころの不調など

会場:エソール広島(広島県女性総合センター)

無料相談会

皆さんの悩みや困りごとを専門家がお聞きします。
今回は、LGBT相談の面談も行います。
一人で抱え込まないで、勇気を出して一歩踏み出しましょう！

- ◇ 支援者によるLGBT相談
性別についてモヤモヤする、学校・職場に行きづらいなど
- ◇ 臨床心理士によるこころの相談
子どもの発達のこと、家族のこと、こころの不調など
- ◇ 弁護士相談
DV、夫婦問題、ハラスメントなど ※相談はお1人40分程度です

開催日 **2023年9月23日(土・祝)** 来場方法はコチラ！

相談時間 ①10:00~ ②11:00~ ③13:00~
④14:00~ ⑤15:00~ ⑥16:00~

会場 **エソール広島** おりびるタワー10階
広島市中区大手町1-2-1

事前申し込みが必要です！お早めにお申し込みください。

申込方法：電話受付(水・日・祝日を除く)
受付時間：14:00~16:00
申込先：☎(082) 242-5262

主催：広島県
受託：公益財団法人広島県男女共同参画財団
URL: <https://www.essor.or.jp>

第1回相談会チラシ

専門家無料相談会

皆さんの悩みや困りごとを専門家がお聞きします。
LGBT相談は、グループ相談と個別相談を行います。
一人で抱え込まないで、勇気を出して一歩踏み出しましょう！

- ◇ 支援者によるLGBT相談
性別についてモヤモヤする、学校・職場に行きづらいなど
- ◇ 臨床心理士によるこころの相談
子どもの発達のこと、家族のこと、こころの不調など
- ◇ 弁護士相談
DV、夫婦問題、ハラスメントなど ※相談はお1人40分程度です

開催日 **2024年2月23日(金・祝)** 来場方法はコチラ！

相談時間 ■個別相談 ①10:00~ ②11:00~ ③13:00~ ④14:00~
⑤15:00~ ⑥16:00~
※①、②はLGBT相談のみ
■LGBTグループ相談 10:00~17:00 (途中入室可)

会場 **エソール広島** おりびるタワー10階
広島市中区大手町1-2-1

事前申し込みが必要です！お早めにお申し込みください。

申込方法：電話受付(水・日・祝日を除く)
受付時間：14:00~16:00
申込先：☎(082) 242-5262

主催：広島県
受託：公益財団法人広島県男女共同参画財団
URL: <https://www.essor.or.jp>

第2回相談会チラシ